

# バスケットボールにおける 1on1 のステップワークに関する研究 ーディフェンスに着目してー

井上 瑛介 (競技スポーツ学科 コーチングコース)  
指導教員 吉川 文人

キーワード：バスケットボール, 1on1, ステップ

## 1. 緒言

バスケットボール競技においては、いかなる戦術の中でプレイを行う場合でも、試合の流れの中で 1on1 のシチュエーションは多く存在し、重要な要素である。そして、1on1 において、ディフェンスの成否及び優劣は、試合の勝敗に関係する要素の一つである。しかしながら、試合中のディフェンス技能について映像分析に基づきその成功・不成功の要因を検討している研究はほとんど見られない。オフENSEのドライブ・インに対するディフェンスの成否及び優劣は、ディフェンダーの一步目の踏み出し方に関係があると推察される。そこで本研究では、1on1 のシチュエーションにおける、オフENSEのドライブ・インに対する、最も効果的なステップの組み合わせを分析し、一步目の位置について、どの角度が最も効果的なのかを明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究方法

分析対象は、平成 25 年度関西学生バスケットボール男子 2 部リーグ戦において収録した、本学の対戦カード 12 試合とする。

分析方法は、映像編集ソフトを用いて、試合中に収録した映像から、1on1 のシチュエーション（特に相手のフロントコートから 45° からトップまでの位置の場合であり、スリーポイントラインより外側からの 1on1 に限定）でオフENSEがドライブ・インしたシーンを切り出し、分析を行う。分析項目は、ディフェンダーのドライブ前のステップと、ドライブ時のステップの組み合わせと、一步目の印象角度である。そ

こで、成功本数と成功率、失敗本数と失敗率を算出する。

## 3. 結果, 考察

表 1, 一步目の印象角度の結果

一步目の印象角度	成功率		
	0° ~ 20°	0° ~ 40°	40° ~ 60°
合計	32.40%	11.80%	1.10%

表 1 より、最も成功率が高い印象角度は 0° ~ 20° であり、32.4%である。

表 2, スライドステップの組み合わせ結果

	成功率			合計
	アドバンス	リトリート	ステップなし	
アドバンス	48.70%	2.60%	0%	51.30%
リトリート	44.70%	34%	2.50%	81.20%
ステップなし	56.90%	11.90%	1.80%	70.60%

表 2 より、最も成功率が高いステップの組み合わせは、リトリートステップからのスライドステップであり、81.2%である。この要因として、オフENSEとの距離が一番遠く、相手の動きを一番長く見ることができ、ドライブの方向に対して近い足を出すことで、素早く相手の正面に入ることができるからだと考えられる。

## 4. まとめ

本研究では、オフENSEのドライブ・インに対するディフェンダーの一步目の位置とディフェンスの成否について分析・検討を行った。スライドステップを使用した組み合わせでのディフェンスでは、守備成功率が全てにおいて 50%を超えていることから、スライドステップの使用が効果的であると示唆される。

## 引用・参考文献

- 1) 木村瑞生, 山本正彦: (2004) バスケットボール選手におけるサイドステップスピードの左右差, 東京工芸大学工学部紀要